

定例公安委員会の開催概要

定例公安委員会は、令和2年2月26日（水）に開催されました。

1 決裁事項

- ・ 人事案件について
- ・ 監察案件について
- ・ 行政不服審査請求について
- ・ 公安委員会意思決定第2号について
- ・ 運転免許関係業務委託に係る法人等の認定について

2 報告事項

(1) 令和2年1月中の警察安全相談受理状況について

県警察から、令和2年1月中の警察安全相談受理状況に関する報告があった。

1月中の警察安全相談受理件数は1,250件と、前月より283件(18.5%)減少した。相談内容は警察活動全般にわたっており、生活安全部門に関する相談が867件と最も多く、次いで刑事部門に関する相談が208件であった。特殊詐欺に関する相談件数は93件と、前月より54件減少した。1月中に相談を端緒に事件化した事案は1件であった。

委員から、『相談受理に際しては、丁寧で親身になって、寄り添うような対応をしていただきたい。』との発言があった。

(2) 令和2年全国優秀警察職員表彰の受章者について

県警察から、令和2年全国優秀警察職員表彰の受章者に関する報告があった。

令和2年全国優秀警察職員表彰の受章者に、県警察の職員1人が決定したとのことであった。

委員から、『現役で受けられる最高の賞ということであり、非常にうれしく思う。是非、今までの経験を若手に伝えていただきたい。』との発言があった。

(3) 令和元年中の山岳遭難等各種事案の発生状況について

県警察から、令和元年中の山岳遭難等各種事案の発生状況に関する報告があった。

山岳遭難は、62件（70人）発生し、前年比では、発生件数が17件、遭難者が15人それぞれ増加した。水難事故は、14件（17人）発生し、前年比では、発生件数が3件、水難者が1人それぞれ減少した。

レジャー・スポーツ事故は、8件（10人）発生し、前年比では、発生件数が5件、事故者が7人それぞれ増加した。

クマの目撃通報は、670件（740頭）で、前年比では、目撃件数が254件、目撃頭数が259頭それぞれ減少した。クマによる人身被害は14件（16人）発生し、前年比では、発生件数が7件、負傷者が9人それぞれ増加した。

山岳遭難等を防止するため、キャンペーン、巡回連絡、ミニ広報紙、市町村広報誌等を活用して広報等に努めている。クマによる人身被害防止のため、目撃現場付近の流動警戒・広報活動、市町村等への通報、登下校時間帯等の通学路の流動警戒、キャンペーン等により被害防止に努めているとのことであった。

委員から、『山岳遭難防止については、事前に登山計画等を出すことなど、いろいろな形で指導していただきたい。』との発言があった。

(4) サイバーセキュリティ対策に関する共同対処協定締結式について

県警察から、サイバーセキュリティ対策に関する共同対処協定締結式に関する報告があった。

近年、スマートフォンの普及とともに、公衆無線LANを提供する宿泊施設や飲食店等が多くなってきているが、これらの中には利便性が優先され、セキュリティ上の問題を有するものも存在している状況にある。

また、本年は「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催に伴い、当県でも外国人観光客等によるインターネットの利用が見込まれることから、県警察と秋田県旅館ホテル生活衛生同業組合とが相互協力の下、サイバー空間の脅威への対処能力の向上と被害の未然防止に資することを目的とするとのことであった。

委員から、『サイバーに関するいろいろな犯罪が考えられる。協定が有効になるよう期待している。』との発言があった。

(5) 由利本荘市石脇地内における殺人未遂事件の発生について

県警察から、由利本荘市石脇地内における殺人未遂事件の発生に関する報告があった。

由利本荘警察署は、令和2年2月19日、由利本荘市石脇地内の一般住宅における殺人未遂事件を認知し、捜査をしているとのことであった。

委員から、『引き続きしっかりと捜査をお願いします。』との発言があった。

(6) 令和元年中の組織犯罪対策課関係の公安委員会事務専決処理状況等について

県警察から、令和元年中の組織犯罪対策課関係の公安委員会事務専決処理状況等に関する報告があった。

「行政命令」、「離脱支援」、「事業者に対する援助」について、秋田県公安委員会事務代行規程等に基づき専決処理を行ったとのことであった。

委員から、『情報収集をしっかりと行い、中止命令等すぐに対応できるようにしていただきたい。』との発言があった。